



市村 均光 小岩井 僚太 小淵 一明 中林 章 鈴木 俊司 新井 美加 林 幸一 堤 波志芽 佐藤 祥平

稲垣 則行 公営企業管理者 須賀 博史 大野 誠司 副市長 阿部 忠幸 山本 龍 市長 横山 勝彦 戸塚 良明 副市長 鈴木 数成 豊島 孝男



多様な声を行政に届けるために

前橋令明 幹事長 阿部 忠幸

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、感染症対策を行いながら第3回定例会が9月24日終了いたしました。当会員14名は3月の第1回定例会以降、本会議での代表質問や総括質問において、合計約11時間、130もの質疑を行ってまいりました。市民の声を市政へ伝えることが出来たものと確信しています。

5月には、前橋旅館ホテル協同組合、赤城温泉観光協同組合と共に「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う宿泊業への支援についての要望書」を市長へ提出し、8月には「熊による人身被害再発防止にかかる要望書」を群馬県知事へ直接お渡ししました。また、JA前橋市で代表理事組合長との意見交換を行い、農業の現状を理解するとともに市政へと意見を伝えることが出来ました。

今後、商工業の代表者との意見交換会も予定しておりますので、多様な声を市政に届けたいと考えております。



会報に寄せて

前橋市長 山本 龍

前橋令明の皆様には、日頃より市政各般にわたり格別なるご指導、ご尽力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の影響による新しい生活様式への移行など、社会が大きく転換している現在、本市では、「新しい価値の創造都市」の実現に向け、様々な施策に取り組んでおります。

とりわけ、本市の豊かな自然や歴史文化、伝統を守りながら、環境と調和したゆとりのある質の高い生活を実現する「スローシティ」と、デジタル技術が人に寄り添い、便利な暮らしを実現する「スーパーシティ」を組み合わせた新しいまちづくりに、勇気をもってチャレンジしているところです。

今後も、これら「スローシティ」と「スーパーシティ」を中心に、コロナ禍を乗り越えた先にある前橋の明るい未来に向かって、前橋令明の皆様と共に、引き続き、力を尽くしてまいります。

市民の皆様におかれましても、こうした本市のまちづくりに対しまして、引き続き格別なるご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



クマ被害防止対策を群馬県知事へ要望

令和3年8月6日にわが会派「前橋令明」として、「熊による人身被害再発防止にかかる要望書」を、群馬県・山本一太知事へ提出しました。

赤城山南麓地域で、市民が熊に襲われ重傷を負う事案が相次いで発生したことに対応したものです。

要望内容は、クマの被害防止対策支援として県職員の相談対応と講師派遣、クマの生息数調査、森林作業者の安全確保、市街地発生時の基本マニュアル作成、クマの餌となる堅果類自生の森林管理、河川敷内の草木刈り払い、赤城山広域的な対策です。

中沢文一県議のご紹介で、山本知事を前橋令明14人で囲む形で、和やかな雰囲気の中、しっかりと要望を行いました。



商工会との意見交換会を実施

令和3年9月22日(水)、前橋令明執行部は富士見町商工会と意見交換会を実施しました。商工会組織の現場や課題、赤城大洞地区の活性化や富士見温泉の利活用、そして新型コロナウイルスの影響

を受けた商工会員の支援についてなど、貴重なご意見や要望を伺うことができました。今後、前橋東部商工会との意見交換会も予定しており、いただいたご意見を整理するとともに、効果的な施策等を検討し、会派として前橋市に要望してまいります。

所属議員紹介

QRコードから過去の議会録画をご覧ください。



幹事長
あべただゆき
阿部 忠幸

- 大胡地区
- 6期
- 市民経済常任委員会



第2回定例会総括質疑(抜粋)

- 1.MENET(メネット)損害賠償訴訟について**
*平成30年3月に確認されて前橋市教育情報ネットワーク(MENET)への不正アクセスに伴い、本市が負担したMENET復旧作業に要した費用等に関するNTT東日本への訴えの提起。
損害賠償金額1億7,735万6,440円
- 2.ヤングケアラーについて**
*法令上の定義はないが、家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情の面のサポートなどを行っている18歳未満の子ども。
- 3.地域おこし協力隊について**
*平成21年度に総務省が制度を創設し、本市は、地方創生の一環として平成29年度から活用し、地域づくり2名、観光振興2名、中心市街地活性化2名、スポーツ振興1名、現在、4分野7名が活動している。
- 4.大胡総合運動公園サッカー場について**
*人工芝の大胡総合運動公園サッカー場は、改修後10年が経過し、劣化が見られ、今年度は約8万円の予算で年4回のブラッシングを予定している。
- 5.大胡110号線の整備状況と進捗状況について**
*8月発行の「まえばし市議会だより」に内容掲載



副幹事長
すずきかずなり
鈴木 数成

- 総社・清里地区
- 3期
- 議会運営委員会(委員長)
- 総務常任委員会
- ICT利便性向上調査特別委員会



お世話になっております。副幹事長の鈴木かずなりです。議会運営委員長として第3回定例会も無事に運営をさせていただきました。今回私も総括質問をさせていただきました。項目は以下になります。

- 1.本市の施策の取組について**
総合計画事業と市長公約との進捗状況について質問。市民負担のある施策についてはコロナ禍であることを配慮するよう求める。
- 2.行政サービスの利便性向上に向けての取組について**
ICTを活用して仕事の作業効率が図れたか等を質問。デジタルが苦手な人に手厚くサポートするよう求める。
- 3.サマーレビューについて**
行政の事業の進捗を正しく確認されているのか質問。確認の結果を公表されるのかを定める。
- 4.コロナ禍の学校対応について**
新学期を通常始業にされたこと等を質問。コロナ禍において児童生徒や保護者を不安にさせない対応を求める。
- 5.新議会庁舎建設について**
補正予算が出された経緯等を質問。今後工事変更に関して慎重に対応するよう求める。
- 6.アーツ前橋について**
あり方検討委員会の進め方等を質問。事故の再発防止について厳しく議論されるよう求める。
また、議会では情報技術を活用して市民生活の利便性向上・庁内での利便性向上に向けて議論するために「ICT利便性調査特別委員会」を設置。こちらの委員に推挙されました。新しい形の前橋づくりに向けても頑張ります。



政策審議会長
すがひろし
須賀 博史

- 三中地区
- 3期
- 市民経済常任委員会



緊急事態宣言の中で新学期が始まりました。県内の市町村の各学校は、分散登校、オンライン授業の導入などそれぞれの対策を講じ開始しましたが、前橋市は通常登校にし、心配な子どもには、自宅でオンラインでの授業をということで対応しました。今までにはない感染が急拡大している市立小・中・高校では、これまで以上に感染拡大の危機を感じており、通常登校に違和感を持っている方もいたことでしょう。新型コロナウイルスの「第五波」の中であっても学びを止めず、感染を防ぎ、学校で拡大させないための措置を講じながらの運用が大事であると訴えてまいりました。その手法については様々あると思います。皆さんのご意見を是非いただきたいと思っています。



政策審議副会長
とよしまたかお
豊島 孝男

- 宮城地区
- 2期
- 建設水道常任委員会(副委員長)



新型コロナウイルスの感染が猛威を振っている今日、私たちの生活に大きな支障が出ております。コロナ感染の収束が見えない中、自分や家族、大切な人の命を守るための私たちの行動が、社会を守ることに思っています。私たち一人一人が正しい認識と自覚をもって行動し、感染症を予防しましょう。これからも安心安全な前橋づくりに全力で取り組んで参ります。

- 令和3年第2回定例会での総括質問
- 1 農村整備について**
1) 要望の現状について 2) 今後の対応について
 - 2 消防職員のコロナワクチン接種について**
1) 接種の進捗状況について 2) 副反応の状況について 3) 接種期間における勤務体制について
 - 3 農業政策について**
1) 災害対策について 2) ブランド力に強化について 3) 生産拡大支援について
 - 4 地域の諸課題について**
1) 宮城幼稚園について 2) 粕川地区の幹線道路について
以上について質問いたしました。



政策審議副会長
おぶちかずあき
小淵 一明

- 桂萱地区
- 2期
- 総務常任委員会(副委員長)



お世話になっております。小淵かずあきです。5月の臨時議会にて、前橋令明を代表しての質問をさせていただきました。4月より閉館になった、狹窪町のあいのやまの湯と粕川温泉元気ランドの早期の再開を求めて質問をしたところ、(株)コーエィさんが指定管理者となり、あいのやまの湯は予定より1ヵ月前倒しで7/1にオープンとなりました。続いて粕川元気ランドにおいては7/22のオープンとなり、利用者からは喜びの声が寄せられました。また、市内でホテルや旅館を営む組合の方々からは、GOTOトラベルや相次ぐイベントの中止で経営が非常に困難であるとの要望を受け、我が会派で当局に要望させていただきました。空き室等を利用したワーキングスペース活用プランや、新たな体験プログラムのプラン等を作成するなどの支援をすることになりました。今後もコロナ禍、アフターコロナにおける市民サービスに全力を尽くしていきたいと思っています。



会長
よこやま かつひこ
横山 勝彦

- 南橋地区
- 8期
- 前橋市議会議長



■市議会議長としての報告
コロナ禍において、前橋市議会の運営にも変化が生じております。特徴的な内容を中心に、以下報告致します。
○議長の職務である県内外への公務出張は、今のところすべて書面対応となっております。市内のイベント及び各種団体の総会もほとんど中止の状況です。
○コロナ禍における情報を全議員と共有するため、日々の状況を保健所からタブレットに報告を受けております。
○新議会棟(令和4年7月完成)、新道の駅(令和4年12月開設)の全議員による見学・説明会を実施しました。免震構造の建物になるため、地下空間における工事も確認しました。
○20年振りとなる全議員協議会を実施しました。内容は、教育関係(GIGAスクール)に係る補正予算についてであります。
○9月定例会は、議場に入る議員数を制限する「分散開催」となりました。議場に入らない議員は控室でインターネット中継を視聴しています。コロナ禍の緊迫した状況を市民の皆様にお伝えしたいという目的があります。
○政務活動費の扱いについては後期分を返還し、年間10%の削減を計ることになりました。



会員
なかばやしあきら
中林 章

- 下川淵・上川淵地区
- 5期
- 教育福祉常任委員会
- 監査委員



<令和3年第3回定例会 質問要旨>

- 1) 災害対策について**
 - ①《質問》ハザードマップを踏まえ、洪水氾濫が発生した場合、「命を守る」体制づくりを質問。
・「命を守る」だけにとどまらず、市民の「基本的な生活基盤」と「地域経済」も守る施策展開を求める。
 - ②《質問》ハザードマップをもとに令和4年4月施行の「都市計画法」の改正が行われ、その内容が市民生活や地域経済に及ぼす影響を質問。
・都市計画法改正が施行されると、「浸水想定区域」で水深3メートルを超えるエリアには、災害が発生しなくても開発規制が行われ、企業誘致の推進が鈍化する可能性が高い。
・ハード整備「護岸工事」を早期に行い、浸水想定区域を減らし、「水害に遭わない前橋」の実現を求める。
- 2) 令和2年度『コロナ禍の下』での施策展開について。**
 - ①《質問》地域要望に対する実績を質問。
・道水路・用水路の整備…実施率41%
・公園整備の整備…実施率40%
・農業用水路の整備…実施率33%
 - ②《要望》
・『生活基盤の改善』のための予算が少なすぎると指摘。令和4年度予算の組み立ての際、補正予算ありきでなく、当初予算でしっかり確保することが「市民からの信頼」を得られ、計画的に執行していくことで「地域経済の継続」につながる。



会員
すずきとしじ
鈴木 俊司

- 富士見地区
- 4期
- 建設水道常任委員会
- ICT利便性向上調査特別委員会(委員長)



新型コロナウイルス感染症への恐れ、各種イベントの自粛、事業継続などへの不安など、いまだに感染症の終息は見通せない状況にあります。このような中での、第2回(6月)総括質問をしました項目を列記します。

- (1) 再生可能エネルギーについて**(①カーボンニュートラル ②今後の方針③新エネルギー・省エネルギー機器設置費助成事業④新たな取り組み)
- (2) がん検診と新型コロナワクチン接種について**(①がん検診の見直し②市内における新型コロナウイルスの現状 ③今後のワクチン接種スケジュール④接種対象年齢の引下げ)
- (3) 前橋駅北口再開発について**(①アクエル前橋の開業②JR前橋駅北口地区市街地再開発事業)
- (4) 農業政策について**(①高齢農家への補助や6次産業化 ②農地利用の現状)
- (5) 赤城観光について**(①スローシティ②東京圏からの移住の実績と課題)
以上を質問しました。

所属議員紹介

QRコードから過去の議会録画をご覧ください。



会 員
あらい みか
新井 美加



- 元総社地区
- 3期
- 市民経済常任委員会 (委員長)

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた激動の年でした。市民の「命」と暮らしの安全を守るべく感染症対策や事業者支援などに取り組んでまいりました。今後も皆様のため、より住むやすい「前橋」の構築を目指してまいります。

令和3年第3回定例会において、総括質問を致しました。

1. **コロナ禍における生活支援体制**
 - (1) 自宅療養の現状 (2) 子供の感染予防 (3) 妊婦の感染予防
 2. **児童虐待防止について**
 - (1) 現状 (2) 新型コロナウイルス感染症防止対策(ニューノーマル)との因果関係
 3. **防犯灯について**
 - (1) 防犯灯の設置状況 (2) 今後の防犯灯新設の考え方
 4. **地域の諸課題について**
 - (1) 総社神社の周辺の歴史観光
- コロナ禍における妊婦のワクチン接種については、優先的に行います。前橋市のホームページに医療機関の情報が順次アップされますのでご確認ください。病院で直接、予約接種が可能です。



会 員
はやし こういち
林 幸一



- 南部・一中地区
- 2期
- 総務常任委員会 (委員長)

令和3年第3回市議会定例会での総括質問は持ち時間28分間で、質問項目は次のとおりでした。

1. **令和2年度決算について**
 - (1) 実質単年度収支、(2) 財政調整基金、(3) 市債
2. **DX人材育成について**
 - (1) 前橋市DX推進計画、(2) 重点事業の取組、(3) 将来を見据えた人材育成の手法、(4) 今後の進め方
3. **シェアサイクルについて**
 - (1) 本格運行までの経過・実績、(2) 事業の拡大・今後の方向性、(3) 今後の課題への対応
4. **ファシリティマネジメント**
 - (1) 施設評価調査、(2) 課題と今後の進め方
5. **歯と口腔の健康づくりについて**
 - (1) 口の中の健康の位置づけ、(2) 市民の健康を守るための歯科健診
6. **江田天川大島線利根川新橋について**
 - (1) 延伸基礎調査による架橋経費、(2) 今後の進め方
7. **地域の諸課題について**
 - (1) 六供土地区画整理事業、(2) 仮称・六供中央公園



会 員
つつみ はじめ
堤 波志芽



- 桃井・中央地区
- 2期
- 教育福祉常任委員会 (副委員長)
- ICT利便性向上調査特別委員会

つつみはじめです。コロナ禍において、外出自粛や休業要請を繰り返し、早一年半が経ちました。この間、多くの企業や事業者が影響を受け、また医療機関をはじめ、市民生活にも甚大な影響を与えてきました。未だ終息が見えない中だからこそ、切り替えていく必要があると感じています。今年度は、保健所や学校、福祉関係の分野である教育福祉常任委員会に所属し、副委員長として、また地元課題にもしっかりと取り組んでいきます。

- ・経済の再開へ向けての施策の展開
 - ・コロナ陽性者への早期対応
 - ・コロナで影響を受ける事業者への支援拡充
 - ・予約無しでも、こどもを一時的に預けることのできる託児ルームの新設
 - ・3歳未満児の受け入れられる保育施設の拡充
 - ・学校に関する相談のできる第三窓口の新設
 - ・中小企業者の事業所税課税に伴う税負担を軽減
 - ・旧中央小学校跡地活用と旧日赤病院跡地の事業展開
 - ・中心市街地再開発事業及び本町五差路の改良の推進
 - ・前橋城大手門の石垣の保存公開の検討
 - ・市役所窓口の手続きの簡素化
- (ホームページで補助金やワクチン、新たな事業等の情報を発信しています)



会 員
こいわい りょうた
小岩井 僚太



- 南橋地区
- 2期
- 市民経済常任委員会
- ICT利便性向上調査特別委員会

一日でもはやく日常を取り戻したい。国民一人一人の皆様の想いだと思います。前橋市としても新型コロナ対策に日々取り組んでおりますが、コロナワクチン接種も多くの皆様のご尽力で順調に進んでおります。

最近の感染者数を見ても、コロナワクチン接種が進んでいる高齢者層の感染が減少し、現役世代の感染が増加傾向にあり、コロナワクチンの感染症発生を防ぐ効果は認められております。自分を守り、ご家族やまわりの大切な人を守るためにも、早めのコロナワクチン接種をご検討くださいませ。

9月の令和3年第3回定例会の総括質問では、以下の項目を質問いたしました。

- 土砂災害対応について
- 熊による人身被害の再発防止に向けた取組について
- デジタル化について
- 教育行政について
- 市立前橋高校の部活動について



会 員
いちむら ただみつ
市村 均光



- 城南地区
- 1期
- 教育福祉常任委員会

市村ただみつです。市議会議員として活動を始めて半年が過ぎました。私の使命は新型コロナウイルス感染拡大により顕在化した不登校や貧困など子どもに関する社会課題を解決することであると考えています。子どもたちがまっすぐ自信を持ってそれぞれの未来に向けて進んでいけるような政策実現に向けて、私自身もまっすぐ進んでいきます。それがより良い地域づくり、持続的に発展する前橋市につながっていくと信じています。

- 第2回定例会では以下の内容について質問させていただきました。
1. **教育行政について**
 - ・不登校支援 ・社会に開かれた教育課程
 - ・オンラインミーティングの活用
 2. **市職員の働き方について**
 - ・ボランティア休暇 ・職員の兼業
 3. **公益的な活動支援について**
 - ・公益団体との連携 ・IT推進補助金
 4. **地域の諸課題について**
 - ・城南あおぞら号の利用促進 ・町内公民館のwifi環境の整備
 - ・前橋総合運動公園の管理 ・ごみ集積所設置の補助
 - ・ローズタウン残地の今後



会 員
さとう しょうへい
佐藤 祥平



- 上川淵・五中地区
- 1期
- 建設水道常任委員会

佐藤しょうへいです。今年の2月から新たに市議会議員として働かせていただき、2回の総括質問と委員会質問をさせていただきました。

これからも皆様の幸せのため、前橋市の明るい未来に向かって働きます。前橋市に暮らすさまざまな人たちがお互いに認め合い、共に生きていける社会を目指し、まっすぐに進んでいきます。

9月議会では下記について質問をしました。

- <総括質問>
- 前橋市DX推進計画 ○外国人住民の現状と政策
 - 若者の市内定着と企業連携・前橋工科大学の役割
 - コロナ禍における子育て施設の現状と取組み
- <委員会質問>
- 江田天川大島線 ●市営住宅管理運営
 - 身近な公園・緑地整備事業 など
- 前橋市で、1年9ヶ月を過ごした南スーダン選手団が無事に帰国をしました。選手たちは、国籍や障がいなど、それぞれが持つ背景に関わらず、共に認め合い、支え合うという大切な気持ちを共有してくれました。前橋市にとって共生社会への大きな第一歩を踏み出せたと思います。



前橋市副市長
大野 誠司

会報に寄せて

8月に副市長に就任した大野誠司と申します。前橋市では、平成28年7月から3年間、情報政策担当部長としてもお世話になりました。

本市では、デジタル技術等の活用によって「住民本位の行政及び地域社会を実現する」という将来像を掲げたDX(デジタルトランスフォーメーション)推進計画を策定しています。

デジタル技術は、言葉、年齢、能力など様々な壁を乗り越えるために活用できる身近なものです。「住民視点の追求」「チャレンジ&アジャイル」「誰も取り残さない」という価値観のもと、個別最適化された住民サービスの実現に向けて取り組んでまいります。これからどうぞよろしくお願いいたします。

表紙写真の説明



国指定重要文化財 塩原家住宅 (前橋市田口町)

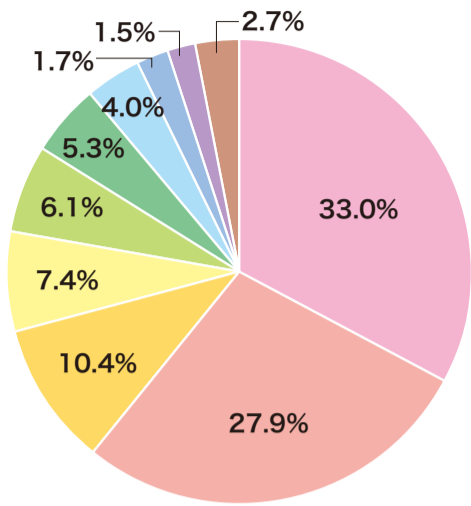
塩原家住宅は、明治14年頃から「蚕種」業を本格的に生業として開始し、「塩原亦(しおばらまた)」という蚕の一大品種を生み出し、全国的に名を馳せた初代塩原佐平の居宅兼蚕室として、大正元年ころに竣工された建物です。今も民家として使用されています。

木造瓦葺き3階建ての主屋は、大きさ、高さともに群を抜き、その存在感は周囲の建物を圧倒しており、約5000平米の敷地内には、江戸時代から続く名家としての家柄を示す「裏蔵」(土蔵)や、本格的な神社建築の屋敷社の「稲荷社」が建っています。

他にも、明治以降の蚕種業に関わる建物や文書も数多く残されています。

令和2年度決算の概要

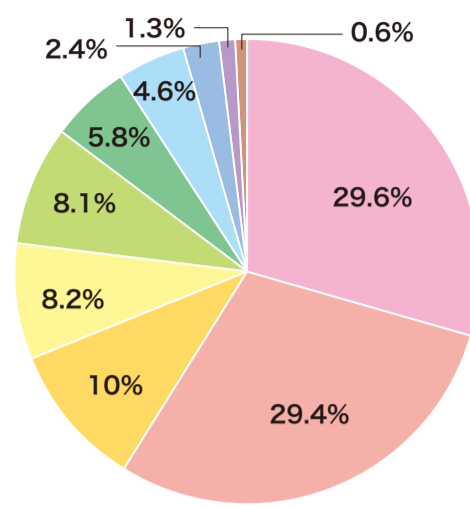
令和2年度の一般会計は、歳入総額が1,921.5億円、歳出総額が1,879.9億円と、いずれも過去最高額となりました。実質収支は約34億円の黒字となり、このうち20億円を財政調整基金へ積み立てました。



歳入

一般会計：1,921.5億円

- 国庫支出金：634.1億円
- 市税：535.8億円
- 諸収入：200.7億円
- 市債：142.0億円
- 地方交付税：116.6億円
- 県支出金：101.8億円
- 地方消費税交付金：77.0億円
- 繰入金：32.0億円
- 使用料及び手数料：28.5億円
- その他：53.0億円



歳出

一般会計：1,879.9億円

- 民生費：556.4億円
- 商工費：551.7億円
- 土木費：188.2億円
- 公債費：153.4億円
- 教育費：152.2億円
- 総務費：109.3億円
- 衛生費：86.9億円
- 消防費：45.2億円
- 農林水産業費：25.3億円
- その他：11.3億円

第七次総合計画 6つの「まちづくりの柱」における歳出の内訳

1 教育・人づくり

事業の一例

- 「GIGAスクール」構想
タブレット端末配備により、コロナ禍での学びの確保と情報教育を推進
- 地域寺子屋事業
市内全ての中学校区を対象とした学習支援事業
- 学習環境の充実
教科指導講師や校務補助員、特別支援学級介助員を増員
- スクールロイヤー事業
学校での諸問題に弁護士から支援を受ける「スクールロイヤー事業」

2 結婚・出産・子育て

事業の一例

- 不妊や不育症の治療支援
高額な費用のかかる特定不妊治療を行う方への支援を拡充
- 産婦へのケア・産後うつ予防
新たな産婦健康診査を実施
- 1歳6か月児健康診査
感染症対策のため、集団から個別健診に切り替えて実施
- 子育て世帯やひとり親世帯への臨時特別給付金

3 健康・福祉

事業の一例

- スマイルプランの策定
高齢者施策の総合計画「第8期まえばしスマイルプラン」を策定
- 旧日赤病院跡地の工事
夜間急病診療所・福祉作業所の移転新築に向けた施設設計に着手
- 新型コロナウイルス感染症対策
医師会・病院と連携した発熱外来の開設やワクチン接種体制の整備

4 産業振興

事業の一例

- コロナ禍の事業者・農業生産者への支援
支援金の支給により、経営の安定化を図る
- プレミアム付商品券の発行
市内の消費喚起と経済循環の促進を図る
- 豚熱(CSF)予防対策
ワクチン接種費用の助成や消毒薬の無償配布
- 新たな産業用地の造成とテレワーク環境整備の促進

5 シティプロモーション

事業の一例

- 上武道路の新たな道の駅
新たな道の駅「まえばし赤城」の敷地造成工事等を推進
- スポーツ振興
東京オリンピック・パラリンピックのホストタウン事業を継続

6 都市基盤

事業の一例

- 交通ネットワークの充実
民間企業と連携した「前橋版MaaS」の環境構築を推進
- 指定避難所の環境改善
テレビの設置や屋外トイレの洋式化、対策物品の配備
- 上毛線片貝駅東口の開設
- 公共交通事業者の支援

令和3年度 9月補正予算の特徴

令和3年9月の一般会計補正予算額は21億1,231万円となりました。主な特徴は以下のとおりです。(一部を紹介)

緊急的な対応を必要とする道路の補修等

予算額：3億4,459万円

自転車活用推進事業追加

- 上毛電鉄の駅にシェアサイクルを配置
- 「まえばしシェアサイクルcogbe(コグベ)」利用促進経費
- SNS連携やMaaS連携等を行うためのシステム改修等

予算額：1,863.2万円

経営支援事業追加

- 商工会議所等の支援を受け経営計画を作成、見直した市内小規模事業者等に対する補助(コロナ対応経営計画実行補助金)

予算額：6,000万円

児童虐待防止事業追加

- 安全確認が必要な家庭に対し、食材等の配布を通じた見守り支援

予算額：246.8万円

土木事業費の追加

- 道路新設改良、舗装長寿命化修繕計画事業等

予算額：7億4,397.5万円

小中学校等の感染防止対策強化

- 小中学校等の消毒清掃委託とCO2濃度測定器の購入

予算額：7,827万円

ニューノーマル支援事業追加

- 県の「ストップコロナ!対策認定制度」に認定された市内事業者に対する補助(設備導入や更新)

予算額：1億176万円

新型コロナウイルスワクチン 12歳以上18歳未満の早期接種を実現

県央ワクチン接種センターでは18歳以下のワクチン接種が出来ません。加えて、夏休みが終わって2学期が始まると、学校内での集団感染も危惧されます。そこで、前橋令明執行部が山本市長に対して、12歳以上18歳未満の早期ワクチン接種を求めました。その結果、上記対象者のワクチン接種が8月下旬より可能となりました。

